



食品廃棄物のリサイクル技術開発 ~食品ロス削減~

前号では、食品の製造過程で発生する規格外品の量を低減させる技術を紹介しました。今号では、発生してしまった食品廃棄物を有効に利用するリサイクル技術について、現在当研究所で取り組んでいる事例を紹介します。

- 食品廃棄物で昆虫のミズアブの幼虫を飼育し、大きく成長した幼虫を家畜や魚の高タンパク質飼料として利用するための技術開発を行っています。

※ミズアブ：正式名称アメリカミズアブは、日本に戦後から定着しており、人畜・作物に無害です。



- 処理残渣は、農業用肥料としての利用が可能です。
- ミズアブ幼虫が食べることで食品廃棄物の量が減少するので、焼却処理しないといけない廃棄物の量を低減させることができます。

詳細については、食と農の研究部 食品技術グループ までお問い合わせください。

電話 072-979-7063

食品に関する技術支援制度、研究所保有機器についてはこちら↓

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/shien/openlabo/index.html>